



啐啄 そったく

平成29年 1月6日発行
http://www.osakasayama.ed.jp
gakkou@city.osakasayama.osaka.jp

大阪狭山市教育委員会 学校教育グループ 1 2 2 号

初春

本年も『啐啄』を通してさやまの学校園の取組みを発信させていただきます。
何卒よろしくお願い申し上げます。

今年も友だちと仲良くして 学習や運動をがんばるゾ！



歴史の流れを思い、北条氏ゆかりの「校章」を表現しました。(東小)



みんなで「SMILE」。今年もスマイルを送り続けます。(西小)



天駆ける「龍」のように、勢いよく大空を飛び続けます。(北小)



私たちの「SMILE」が楽しい学校をつくっています。(南一小)



池に浮かんでた「ラバーダック」の愛らしさを表しました。(南二小)



私たちのマスコット「さやりん」とはいつも仲良しです。(南三小)



元気で明るい笑顔の「さやりん」が大好きです。(第七小)

狭山池築造1400年を記念した“フラワープロジェクト1400”に全小学校が参加しました。パンジーをプランターで育て、それをみんなで考えた図案どおりに配置しました。うまく作れたと思います。どうぞ楽しんでください。(七つの小学生一同)

中学生活が楽しみです ～夢と希望を胸に～

各中学校区では“育ちの連続性”“学びの一貫性”を学校園間で共通認識し、キャリア教育を軸に保・幼・小・中の連携を進めています。このような連携が、小1・中1の段差を乗り越え「夢・希望・自信」を持ってたくましく歩み続ける子どもを育成することにつながります。



生活委員が学習や年間行事を説明します。(狭中)



6教室に分かれ「狭山中の一日」を動画で見た後、先輩に質問です。(狭中)

中学進学に際して…「学び方が全く違うの?」「クラブ活動って?」「上級生は優しいかな?」「新しい友だちができるかな?」…こんな不安を払拭させ“安心して中学生活を送ってほしい”とのメッセージを、中学生が6年生に届けました。

狭山中学校 12月8日に東小・北小の6年生が「体験入学」をしました。中学1,2年生の生活委員が、“学校案内”と“歓迎イベント”を進行していきます。そして「中学校は成長できる新たなステージ」ということを、後輩たちにしっかり伝えていました。



ゲームとクイズで一気に関係が縮まります。(狭中)



ソフトボール部(狭中)

では、実際の練習に参加しました。上級生のキビキビした動きに感嘆しつつ、優しく丁寧に教えてもらうことで緊張がほぐれていったようです。練習が終わる頃にはすっかり狭山中学校に親しみを持った表情になっていました。

第三中学校 中学校の授業を6年生に体験してもらおうと、中学校の先生が西小学校と第七小学校で出前授業を行いました。三中の田上先生は、「仲間分けができる力をつける」を学習の“めあて”にした「理科」の授業です。一人ずつ配付されたカードに記されたものが、動物なのか植物なのか…分類した後、全員で意見を出し合い“動物・植物・生物”の概念や定義を皆で考えます。



意見を交流し合い、考えを深めます。(西小)



三中生活について沢山の質問です。(西小)

小さな思いつきや意見も、大切に受け止められ、身構えていた6年生たちに“学ぶ楽しさ”が広がりました。(裏面へ)



中学の先生に親近感を持ってました。(七小)

又、小林先生が「社会」と「三
中生活について」の授業を行いました。

授業を受けた 6 年生からは「中
学校での勉強がとても楽しみにな
りました」「早く中学生になりたい
と思いました」「中学校でもがんばろうと思います」
…など、沢山の安心と希望の言葉を聞くことができました。出前授業は三学期にも予定されています。

まるごと授業公開に向けて

1 月 19(木)に南中学校が“まるごと授業公開”を
行います。校長先生にこれまでの実践・研究の取組み
を中心にお話をお伺いしました。



南中学校 蔵之前校長先生 □Q ■A

□当日、滋賀県湖南市から小・中連
携の視察に来られるそうですが。

■南一小的視察後、南中校区の「成長をつなぐ」「学
びをつなぐ」という視点からの保・幼・小・中連携を
公開授業・分科会を通してご覧頂けると思います。
今までの連携の積み上げと“授業改善”の取組み
が相まって、生徒たちの学習に向かう前向きな姿
勢を引き出しているのだと思います。

□公開授業・分科会について教えてください。

■単元名・めあて・授業の流れを記した一覧表を手
に参観して頂きますが、今回は先進校視察で学んだ
“疑問形でめあて”を取り入れました。又、分科
会構成では“子どもの成長についての交流”の外、
校種を越えた“学びのあり方”を検討していく場
として、数学・社会・国語の分科会を新しく設けま
した。南中校区以外の小学校の先生方も是非ご参
加ください。今後、保・幼・小・中連携を基に“授業
交流”の取組みが進められたらと思っています。

□当日の流れをお教えてください。

■ 13:40 からの授業参観後、関西大学の若槻 健准教
授による「アクティブ・ラーニング」についてのご
講演、そして6分科会での交流会と続きます。

体力の向上をめざして

スポーツ庁は小 5 年生・中 2 年生
対象の全国体力調査の結果を
12/15 に公表しました。大阪府は
「全国との差はまだあるが改善傾
向にある」状況です。

文科省(生涯学習政策局)は2年前“子
どもの体力低下の原因”をいくつか指摘し、その中で
★外遊びに不可欠な空間・時間・仲間の減少

★教師の経験不足による「楽しい運動と発達段階に
応じた指導工夫の不十分さ」——を挙げています。

これらは「学校園生活」と「体育の授業」の工夫
次第で改善できるものだと考えます。



小山を登るコースを
10分以上走れるよう
になりました。(東野幼)

“外遊びと仲間づくり”をリンクさせる。伸長が実
感できる方法で評価する。空間と
時間を捻出し、季節やねらいに合
った運動種目を設定する…などで
1年間を通して子どもたちの運動
意欲を持続させたいものです。

又、「楽しく・仲良く・鍛える体育
授業」を継続的に実践できる仕組みづくりを学校全
体で進めることが重要だと考えています。

「ふるさと さやま」の心を大切に

子どもたちが将来、自立して生きていくために必
要な“根っこ”の一つが「地域への信頼と愛着、伝
統や文化への誇り」だと言われます。学習指導要領
に「伝統や文化に関する教育の充実」が謳われてい
るのも、子どもが自己を形成する上で大切な役割を
担っているからでしょう。このような趣旨に沿った
取組みが南中学校区と東小学校で行われました。

12/10(土) 南中校区 わくわくフェスティバル



地域の一員として地域
貢献でき嬉しいです。

青空に届くほどの笑い声や歓声
が響く中、“わくわくフェスティ
バル”を地域・PTA の人たちと共に
成功させようと一生懸命な中学生
たち。大勢の人たちが集う体育館
での吹奏楽部による素晴らしい演
奏。模擬店での明るく澆刺とした気持ち良い対応が
人々の笑顔を誘います。

このような交流を通して、地域
の一員として貢献できる喜びと効
力感に包まれて“ふるさと”を感
じる事が“さやま”への愛着に結
び付いていくように思いました。



喜んでもらえて「頑張
って良かった！」

12/17(土) 東小学校 土曜授業

“学校の特色づくり”として、様
々な形で「学ぶ楽しさ」を体験し、
学びに対する関心や意欲を高めよ
うと各校で「土曜授業」を工夫し
ています。



狭山池を大事に思う人
々の心が伝わります。



初めて狭山音頭を踊り
ます。早く覚えたい！



音頭に合わせて踊れる
ようになったよー。

東小学校では
特色づくりのコンセプトを「ふる
さと さやま」とし、これまで郷土
の歴史学習として“狭山藩陣屋跡
の文化財”の学習を行いました。

今回は第1部 狭山池にちなんだ
民話「金のうろこ」の人形劇、第
2部が「輪になって踊ろう 狭山音
頭」です。楽しく学ぶことを通し
て「さやまを知り、さやまを大切
に思う心」を育てます。親子で来
校された方も多く約 400 人が温かい交流を楽しみま
した。